

組織活動報告（情報部門）

情報部門 村上 義博

はじめに

平成20年4月1日に技術センターは部門再編を行った。情報部門は、それまで情報基盤グループとして活動してきたメンバーをもとに、旧7部門のうち5部門から情報関連の知識を持った11名（H.20.12.3現在10名）で、活動を開始した（図1）。情報部門はネットワーク技術班とコンテンツ技術班の2つの班から構成され、図2のような業務を行っている。各構成員に対する業務依頼の件数は、表1に示すとおりであり、研究室付きとして業務を行ってきた技術職員は全学的な支援業務が追加され、複数の業務依頼者が存在する形となっている。表（業務依頼の

表1 班構成と各構成員に対する業務依頼件数

班構成

| 部門 | 技術長 | 班名 | 班長 | 技術専門職員 | 技術主任 | 技術員 |
|------|-----|-----------|----|--------|------|------|
| 情報部門 | 1 | ネットワーク技術班 | 1 | | 1 | 3(1) |
| | | コンテンツ技術班 | | (1) | 1 | 3 |

業務依頼の件数

| | 支援範囲 | | | 依頼期間 | | |
|-----|------|----|---------|------|---|---|
| | 全学 | 部局 | 講座(研究室) | 毎日 | 週 | 年 |
| 情1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 |
| 情2 | 1 | | | 1 | | |
| 情3 | 1 | 1 | 1 | 2 | | |
| 情4 | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 |
| 情5 | 1 | | | 1 | | |
| 情6 | 2 | 2 | 1 | 3 | | 1 |
| 情7 | 1 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1 |
| 情8 | 2 | | 1 | 3 | 1 | |
| 情9 | | 1 | 1 | 1 | | |
| 情10 | 1 | 1 | 1 | 2 | | |

件数)でグレーのセルが主たる業務遂行場所を示している。

本稿では、4月以降、新部門として行ってきた活動について報告する。

1. HINET2007移行支援

情報化推進部による全学的な情報セキュリティ維持強化が中期計画に沿って進められており、維持体制の脆弱部局対策として、HINET2007の導入を機に技術センタースタッフによる技術支援が計られ、技術センターでは情報セキュリティ支援プロジェクトとして準備を進めてきた（このプロジェクトの詳細については昨年の技術センター報告集に掲載している）。HUTC情報セキュリティ支援連絡会の研修計画に基づき、HUTC情報セキュリティ支援のための研修会が5回開催され、情報部門を含めた十数名の技術職員（情報基盤グループ）が受講した。平成20年5月よりHINET2007移行が始まり、情報メディア教育研究センターからの要請で支援を開始している（図3）。支援内容は、情報メディア教育研究センターの要請により、支援可

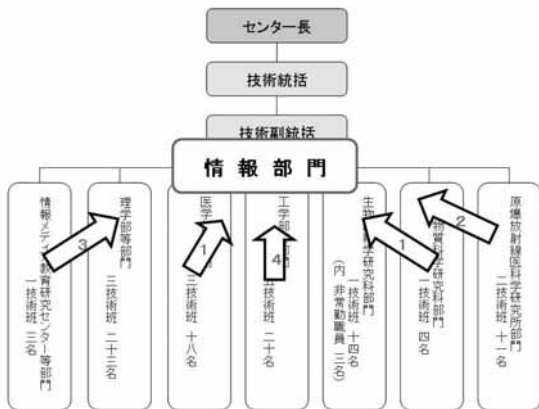


図1 旧部門から情報部門へ配属の人数



図2 情報部門の業務（技術センター HP 参照）

業務依頼申請・業務完了報告書

広島大学技術センター長 殿

下記の通り依頼します。(業務依頼申請) 申請日 平成20年 3月12日

| | | | |
|--------------------------|----------------------------|----------------------|-------------------|
| 申請者 | 渡邊 敏正 | 所属・職 | 情報メディア教育研究センター長 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 業務指示者 | 西村 浩二 | 所属・職 | 情報メディア教育研究センター准教授 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 被依頼技術者 (指名があれば記載、複数可) | | 必要スキル・資格等 (指名理由) | ネットワーク関連知識 |
| 依頼期間 | 平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日 | | |
| 業務場所 | (建物・部屋名称等) | 時間 (固定の場合) 時 分 ~ 時 分 | 情報メディア教育研究センター |
| 支援範囲 | 全学・部局・講座(研究室)・技セ・その他 新規・既経 | | |
| 業務概要 | HINET2007 支援業務 | | |

図3 情報メディア教育研究センターからの業務依頼申請書

能な技術センター職員が現場に赴き、最寄りのPS内等に設置されているフロアスイッチと研究室等の情報コンセントを物理的に接続し、場合によっては各クライアントのPCの設定を行うというものである。

運用手順を以下に示す(図4)。

添付された表の技術職員に対して、情報メディア教育研究センターから直接連絡し、日程等の調整を行う。

日程調整がつかない場合は、情報メディア教育研究センター関係者のみで対応する。

依頼状況、支援状況等については、情報メディア教育研究センターでとりまとめ、適当なタイミングで技術センターに報告する。また、技術センターから要請があれば、情報提供する。

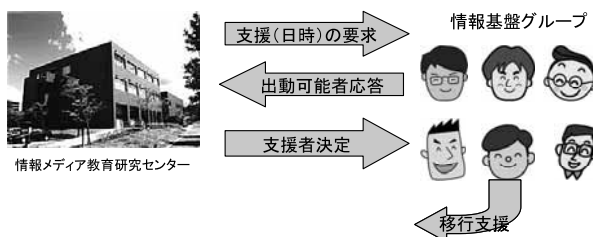


図4 HINET2007への移行支援の流れ

これまでの支援状況は表2の通りである(表の人数には情報メディア教育研究センターに配属されている2名は入っていない)。

表2 支援状況(3月11現在)

| 日時 | 場所 | 人数 |
|--------|--------------|----|
| 8月25日 | 附属三原学園 | 2 |
| 8月28日 | 附属東雲小・中学校 | 1 |
| 9月5日 | 理学研究科・生物科学専攻 | 2 |
| 9月8日 | 理学研究科・生物科学専攻 | 2 |
| 9月3日 | 医歯薬学総合研究科 | 1 |
| 9月4日 | 医歯薬学総合研究科 | 2 |
| 9月5日 | 医歯薬学総合研究科 | 2 |
| 12月22日 | HISIMセンター | 2 |
| 2月23日 | 保健学研究科 | 1 |
| 2月24日 | 保健学研究科 | 1 |
| 3月9日 | 歯学部C棟9階 | 1 |
| 3月11日 | 総合研究棟 6研究室 | 2 |

2. コンテンツ作成支援室支援

教育室 e-learning 推進会議により、教育室が中期計画に基き進めている本学の E-learning 活性化(WebCT 利活用)を目指して平成18年度に設置された WebCT 支援室(現コンテンツ作成支援室)の体制強化(図5)のために、今年度も技術センターに支援が要請された(図6)。これを受け、現在、コンテンツ支援室の支援として、技術センター職員が4名(情報メディア教育研究センターに配属の技術職員は除く)が対応している。これまでにセキュリティ講座英訳支援や WebCT CE6出前講習会支援等を行っている。

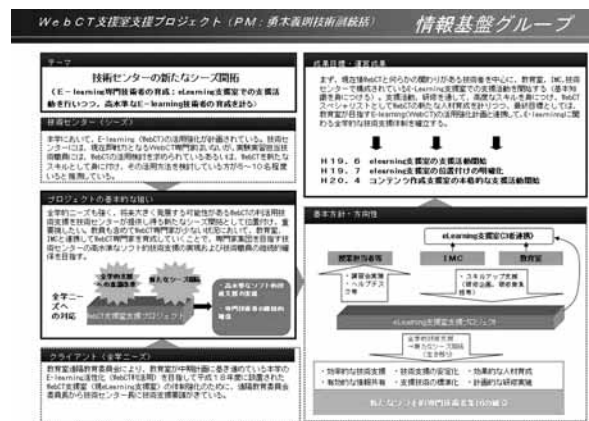


図5 WebCT 支援室支援プロジェクト

業務依頼申請・業務完了報告書

広島大学技術センター長 殿

下記の通り依頼します。(業務依頼申請) 申請日 平成20年 3月12日

| | | | |
|--------------------------|---------------------------------|---------------------|----------------------|
| 申請者 | 前原 俊信 | 所属・職 | 教室 e-learning 推進会議議長 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 業務指示者 | 中村 純 | 所属・職 | 情報メディア教育研究センター・教授 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 被依頼技術者 (指名があれば記載、複数可) | 勇木義則・村上義博・京泉 敬太・中川 敦・三原 修 | 必要スキル・資格等 (指名理由) | 情報処理関連知識 |
| 依頼期間 | 平成20年4月1日 | ～ | 平成21年3月31日 |
| 業務場所 | 毎日・週・月・年 | 時間 | (固定の場合) 時 分～ 時 分 |
| 支援助範囲 | 全学・部局・講座(研究室)・授・その他 | | 新規・継続 |
| 業務概要 (箇条書き) | WebCT 支援業務 ヘルプデスク コンテンツ作成 | | |

図6 教室からの業務依頼申請書

3. 部局 HP 作成・更新

医歯薬学総合研究科等支援室より、霞地区6部局(病院を除く)の各講座のホームページの設定と管理の依頼が情報部門に来ている(図7)。当面は歯学部ガイドブック2008の講座案内をもとに、歯学部各講座のホームページの設定と管理を手掛け、現在 試験的に歯学部ホームページを作成し、担当部署に提示し、修正作業中である(図8,9)。技術センターでの作業は各学部のメニュー画面を作成し、各研究室の紹介ページでその研究室へのリンクを貼るところまでを行ない、そのページは情報メディア教育研究センターが提供しているホスティングサービスを利用している。今後は、残り5部局

様式【広技セ-001】

業務依頼申請・業務完了報告書

広島大学技術センター長 殿

下記の通り依頼します。(業務依頼申請) 申請日 平成20年6月3日

| | | | |
|--------------------------|---|---------------------|------------------|
| 申請者 | 岡本 哲治 | 所属・職 | 医歯薬学総合研究科 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 業務指示者 | 中原 良文 | 所属・職 | 医歯薬学総合研究科等支援室長 |
| 連絡先 | | E-mail | |
| 被依頼技術者 (指名があれば記載、複数可) | 技術長 村上 義博 | 必要スキル・資格等 (指名理由) | 専門技術分野: ネットワーク管理 |
| 依頼期間 | 平成20年7月1日 | ～ | 平成21年3月31日 |
| 業務場所 | 毎日・週・月・年 | 随時 | (固定の場合) 時 分～ 時 分 |
| 支援助範囲 | 霞地区6部局(病院を除く) | | 新規 |
| 業務概要 (箇条書き) | * 霞地区6部局(病院を除く)の各講座のホームページの設定と管理。当面は歯学部のガイドブック2008の講座案内をもとに、歯学部各講座のホームページの設定と管理を手掛け、随時、残り5部局の各講座のホームページに展開を広げる。 | | |

図7 医歯薬学総合研究科からの業務依頼申請書

HP作成・更新サービス

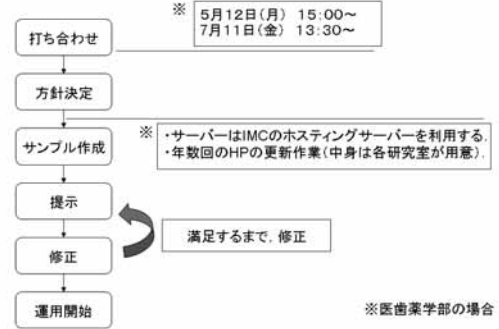


図8 HP 作成・更新サービスの流れ



図9 サンプル

の各講座のホームページを作成し、管理をしていく予定である。

4. 広報用 DVD 製作

広報用 DVD 作成の支援要請があり、映像素材を依頼元の構成案に基づき、試作中である。まだ、編集用機材等が揃っていないため、満足のいくサービスは提供できないが、今後の部門での新たなニーズの1つになると思われるので、映像編集に長けた人材の育成を含めて検討中である。

5. 結び

情報部門(他部門も同様と思うが)では、各構成員が各々の配属先での業務を行いつつ別の業務を行うため、構成員間の連絡を密に取る必要がある。業務の振り分けが授業期間には特定の職員に仕事が集中することがあり、ある時期には人員が不足する。各人の能力に差が当然あるので、それをレベルアップしていくための方策をとる必要がある。など、検討すべき

課題が多く存在していることも確かである。1つ1つ課題を解決していかねばならないが、まずは、スケジュール管理をどのように行っていくかが当面の課題であると思っている。

まだ、活動し始めたばかりであるので、評価

することは難しいが、情報部門構成員のご努力や他部門の技術職員のご協力を得て、大きな問題もなく業務を遂行できていることに感謝して結びとさせていただきたい。